

# 市議会だより

■発行/鈴鹿市議会 ■編集/鈴鹿市議会広報広聴委員会

三重県鈴鹿市神戸一丁目18番18号 TEL.059-382-7600 <http://www.city.suzuka.lg.jp/gikai>



こども議会(平成22年8月9日)

## 9月定例会のあらまし

9月定例会は、8月26日から9月28日までの34日間の日程で開催されました。本定例会では、平成22年度鈴鹿市一般会計補正予算(第2号)についてなど議案21件が市長から提出され、議案質疑、各委員会での審査の後、討論及び採決の結果それぞれ原案のとおり可決されました。また、議員提案による「義務教育費国庫負担制度の存続と全額国負担」を求める意見書などの5件の発議案が28日の本会議で提出され、原案のとおり可決されました。(議決一覧については3ページに記載)

### 主な内容

委員会審査状況	2P
9月定例会議決一覧	3P
委員会活動状況	3P
一般質問	4~9P
意見書について	9P
議会の動き	10P
11・12月の会議日程	10P

### 議員からの寄付は禁止されています

議員(候補者を含む)が、親睦旅行会・会合・お祭り・運動会等の行事に、寄付や差し入れなどをしたり、祝い金(出産・新築等)や贈り物をする事は、公職選挙法等により罰則をもって禁止されています。また、要求した人や受け取った人も同様に罰せられます。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

# 常任委員会審査状況

常任委員会(総務・文教福祉・生活産業・建設水道・予算決算)では、定例会において付託された議案や請願の審査等を行いました。

## 総務委員会

議案第54号、議案第56号、議案第57号の3件を審査した。議案第54号鈴鹿市市有財産条例の一部改正については、行政財産の一部貸付が可能になり、今後は自動販売機の設置に関して、すべて使用料等を徴収するのかとの質疑があったが、採決の結果、全会一致で原案可決した。議案第56号鈴鹿市火災予防条例の一部改正については、今回の対象となる燃料電池の市内の設置状況を尋ねる質疑等があったが、採決の結果、全会一致で原案可決した。議案第57号財産の取得については、消防車両の購入の件であり、今回購入する消防車両は、これまでの車両より狭隘な道路での作業が可能とのことであるが、具体的にどのような幅の道路での作業が可能になるのかとの質疑、これまでのはしご車の利用状況と、今回更新する車両の利用方法や点検方法、旧車両の処分方法を尋ねる質疑等があったが、採決の結果、全会一致で原案可決した。

## 生活産業委員会

議案第52号ほか4件を審査した。議案第52号では、コミュニティ行事用具建造費補助について、自治会への周知方法を、清掃センター焼却灰処理委託料について、処分場までの運搬方法を、家畜伝染病予防費について、配布した消石灰の量を尋ねる質疑等があった。討論では、清掃センター焼却灰処理委託料について、将来的には自己処理ができるようになってほしいとの意見があったが、採決の結果、全会一致で原案可決すべきものとされた。議案第60号では、市有地売払金について、売り払った市有地の場所を、自転車駐車場管理及び放置自転車対策費について、借地代はいくらか、クリーンエネルギー自動車普及促進事業費について、CO<sub>2</sub>の削減量を、空缶ポスト回収及び不法投棄撤去事業委託について、空缶ポストの設置場所を、勤労青少年ホーム費の維持修繕工事費について、修繕完了後に現地確認を行ったのか、鳥獣被害対策費について、どのような動物を何頭駆除したかを尋ねる質疑等があった。討論では、議案には賛成するが、鈴鹿市が安心安全な街として他市から注目されるよう努力してほしいとの意見等があったが、採決の結果、賛成多数で原案認定すべきものとされた。議案第63号、議案第64号及び議案第67号については、審査の結果、全会一致で原案認定すべきものとされた。

## 文教福祉委員会

議案第52号ほか5件を審査した。議案第52号はけやき・さつきホーム施設整備費や武道必修研究事業費等の詳細を問う質疑、議案第60号は障害者自立支援費や乳幼児医療費、鈴西小学校分の施設整備費の支出の詳細を問う質疑があったが、2議案とも全会一致で可決した。議案第61号は保険税の収入未済額が多い。収納率向上と支出の適正化を図るべき等の意見があったが、賛成多数で可決した。議案第65号、議案第68号は2議案とも全会一致で可決し、議案第69号は後期高齢者制度の矛盾を感じる、県で是正の動きはあるのかという質疑、討論では制度自体を廃止すべきであるとの意見があったが賛成多数で可決した。また、請願第11号から第14号の4件を審査した。請願第11号は日本の教育に対する公費の負担が低く底上げすべきである。全額国負担では財政的に膨大になるとの意見。請願第12号は、教育の機会均等を与えるということから賛成という意見や高校以上の就学は、個々に努力をしていくことが必要であり、義務教育とは違いがあってもよいとの意見。請願第13号は「新・教職員定数改善計画」が進められれば、具体的な改善がされるのかとの質疑。請願第14号はワクチンの副作用を考えると慎重に考える必要があるとの意見があったが、4件とも賛成多数で可決した。

## 建設水道委員会

議案第52号ほか7件を審査した。議案第52号及び第53号では特に質疑等もなく、議案第55号では樹木の指定の内容について、鈴鹿市景観審議会のメンバーについて、条例改正後に山の掘削等の自然景観を崩す行為は規制対象になるのかについてを尋ねる質疑があった。次に市道の廃止及び認定についての議案第58号及び第59号では特に質疑等もなく、21年度の一般会計決算の認定である議案第60号では北長太川での河川改良事業の内容と今までの経過について、鈴鹿サーキット稲生駅周辺の歩道の除草について、白子駅前広場整備事業の進捗状況について、市営住宅の地上デジタル対応化工事は終了したかについて、デジタル移行後はどうかについてを尋ねる質疑、議案第66号では下水道の普及率並びに未接続件数についてやマンホールトイレ整備件数と今後の計画を尋ねる質疑、議案第70号では給水停止にした件数、徴収業務を民間業者へ委託していることでの問題点や苦情の有無を尋ねる質疑があったが、全8議案とも、採決の結果、全会一致で原案可決及び認定した。

## 予算決算委員会

議案第52号ほか11件の予算決算議案について付託され、同日、当委員会を開き、分科会を設置し分担送付して審査することと決定し、13日に文教福祉・建設水道、14日に総務・生活産業の各分科会を開いて審査を行った。21日に当委員会を開き、各分科会委員長の審査報告を受けた。これに対し生活産業分科会での清掃センター焼却灰処理委託料における焼却灰の処理方法、処理場所に関する議論が分科会でなされたのかを尋ねる質疑があったが採決の結果、議案第52号と議案第62号から議案第68号までの8議案、及び議案第70号の9件は全会一致で、残りの議案第60号、議案第61号及び議案第69号の3件は賛成多数で、付託された議案のすべてが原案のとおり可決、認定すべきものと決定した。

# 議決一覧表(9月定例会)

議案番号	件名	議決内容	
議案第51号	専決処分の承認について	原案可決	全会一致
議案第52号	平成22年度鈴鹿市一般会計補正予算(第2号)	原案可決	全会一致
議案第53号	鈴鹿市行政組織条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第54号	鈴鹿市市有財産条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第55号	鈴鹿市景観づくり条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第56号	鈴鹿市火災予防条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第57号	財産の取得について	原案可決	全会一致
議案第58号	市道の廃止について	原案可決	全会一致
議案第59号	市道の認定について	原案可決	全会一致
議案第60号	平成21年度鈴鹿市一般会計決算の認定について	原案可決	賛成多数
議案第61号	平成21年度鈴鹿市国民健康保険事業特別会計決算の認定について	原案可決	賛成多数
議案第62号	平成21年度鈴鹿市土地取得事業特別会計決算の認定について	原案可決	全会一致
議案第63号	平成21年度鈴鹿市福祉資金貸付事業特別会計決算の認定について	原案可決	全会一致
議案第64号	平成21年度鈴鹿市住宅新築資金等貸付事業特別会計決算の認定について	原案可決	全会一致
議案第65号	平成21年度鈴鹿市老人保健特別会計決算の認定について	原案可決	全会一致
議案第66号	平成21年度鈴鹿市下水道事業特別会計決算の認定について	原案可決	全会一致
議案第67号	平成21年度鈴鹿市農業集落排水事業特別会計決算の認定について	原案可決	全会一致
議案第68号	平成21年度鈴鹿市介護保険事業特別会計決算の認定について	原案可決	全会一致
議案第69号	平成21年度鈴鹿市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	原案可決	賛成多数
議案第70号	平成21年度鈴鹿市水道事業会計決算の認定について	原案可決	全会一致
議案第71号	鈴鹿市公平委員会委員の選任同意について	原案可決	全会一致
議員発議案第4号	「義務教育費国庫負担制度の存続と全額国負担」を求める意見書	原案可決	賛成多数
議員発議案第5号	「保護者負担の軽減と就学・修学支援に関わる制度の拡充」を求める意見書	原案可決	賛成多数
議員発議案第6号	「『新・教職員定数改善計画』(案)のすみやかな実施と教育予算拡充」を求める意見書	原案可決	賛成多数
議員発議案第7号	子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を求める意見書	原案可決	賛成多数
議員発議案第8号	三重県北部地域の都市建設を推進し、雇用拡充や経済の活性化を求める意見書	原案可決	全会一致


請願番号	件名	議決内容	
請願第11号	「義務教育費国庫負担制度の存続と全額国負担」を求める請願書	採 択	賛成多数
請願第12号	「保護者負担の軽減と就学・修学支援に関わる制度の拡充」を求める請願書	採 択	賛成多数
請願第13号	「『新・教職員定数改善計画』(案)のすみやかな実施と教育予算拡充」を求める請願書	採 択	賛成多数
請願第14号	子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を求める請願書	採 択	賛成多数

## 常任委員会活動状況

総務・文教福祉・生活産業・建設水道の4つの常任委員会では閉会中の継続調査事項に関して行政視察を実施しました。

### 総務委員会

7月20日(火)  
～  
7月22日(木)



常総市(入札制度改革について)  
中野区(コンプライアンスの推進について)  
横須賀市(入札制度改革について)

### 文教福祉委員会

7月20日(火)  
～  
7月22日(木)



姫路市(幼稚園の統廃合等について)  
南国市(食育について)  
高松市(健康増進事業について)

### 生活産業委員会


7月12日(月)  
～  
7月14日(水)



北九州市(地球温暖化防止対策について)  
山口市(地域づくり協議会について、地球温暖化防止対策について)  
長門市(農工商振興について)

### 建設水道委員会

7月20日(火)  
～  
7月22日(木)



伊勢崎市(目的別分散入居について、定期入居制度について)  
小山市(くらしのみちゾーン 羽川地区における取組みについて)  
鹿沼市(市営住宅の統合・建て替えについて、高齢者住宅等安心確保事業)



## あくていぶ21 矢野 仁志 議員

- 1 電子黒板について
- 2 鈴鹿シティマラソンについて

**質問1** 電子黒板が各小学校に導入されたが、有効活用されているか。活用を図るための具体的な取組みは。小中学校全ての教職員に1人1台の校務用パソコンを市費で整備すべきではないか。

**答弁1** 導入した学校で使い方に差が大きい実態があるため、電子黒板活用事例集を各校に配布した。教職員に1人1台のパソコンを設置するには、多額の経費が予想され難しい。教育用パソコンや更新機器を有効に活用するなど、工夫を図りたい。

**質問2** 市制70周年に合わせて記念大会として開催

してはどうか。経済効果はどうか。今後、より地域経済の活性化を図るための企画・運営についてどのように考えているのか。

**答弁2** 平成24年は市制70周年を迎え、鈴鹿シティマラソンも、第15回目となることから、記念大会と位置付けている。鈴鹿シティマラソン実行委員会での意見では、シティセールスを意識したイベントの開催を検討いただいている。経済効果は、具体的には把握はしていないが、昨年の大会においては、約1億8千万円の経済効果はあったと推測する。F1日本グランプリのコースを走れる市民マラソン大会を全国に発信することや、マラソンスポーツの普及を図ること、市民や参加者の健康づくりについて考えることを基本に今後も展開したい。



## あくていぶ21 森 喜代造 議員

- 1 農地の耕作放棄地について
- 2 国指定天然記念物について
- 3 高齢者について

**質問1** 検討委員会の設置と今後の取組みについて。

**答弁1** 本年3月に21名の構成員で「鈴鹿市耕作放棄地対策有識者検討委員会」を設置した。茶園の放棄地を活用した紅茶づくりや果樹や茶園のオーナー制度を考えている。不法投棄防止の看板設置や、農地パトロールで耕作放棄地を防ぐ取組みをしている。またふれあい農園の開設や人材の育成等に取り組みたい。

**質問2(1)** 金生水沼沢植物群落の取組みについて。

**答弁2(1)** 平成15年度から環境改善に取り組む、学習会も2回実施し130名が参加した。

**質問2(2)** 保護増殖事業推進委員会はどのようなもので今後どのようにしていくのか。

**答弁2(2)** 金生水に生育する希少植物の増殖を進め保護管理を効率的に行い、ボラ組織の拡充を図る。

**質問2(3)** 今年度と今後の取組みについて。

**答弁2(3)** 今年度は観察路を設置し、来年度からは開花時期に合わせて観察会を実施する。入場制限を設け、1回に20名を予定している。

**質問3** 100才以上の調査と今後の取組みは。

**答弁3** 施設や病院及び自宅訪問で49名全員の所在を確認した。本人と連絡が取れない場合は、職権で住民票を削除し住民基本台帳と居住実態との整合を図りたい。又、今年度は90才以上100才未満の1,700名を調査し、結果を踏まえ順次年齢を拡大していく。



## 市政研究会 水谷 進 議員

- 1 神戸中学校について
  - (1) 通学路の安全について
- 2 熱中症対策について
  - (1) 高齢者への対応について
  - (2) 学校での対応について
- 3 平和問題について
  - (1) 「非核平和都市宣言」について

**質問1(1)** 神戸中学校西側の信号機の設置と、十宮地内の安全対策はどうなっているのか。

**答弁1(1)** 信号機の設置については、決定をしているが工事にはもう少し時間がかかると県より連絡を受けている。また、十宮地内の安全対策については、分散登校の指導の他、教職員をはじめPTAや地域の方々の

協力を得て登校指導を行っている。

**質問2(1)** 高齢者世帯などへの対応はどうか。

**答弁2(1)** 民生委員を始め、各種団体の方々に日常적인見守りをお願いし大きな力となって頂いている。

**質問2(2)** 学校での対応はどうか。また、五感だけに頼らず「熱中症計」を各校に設置をしたらどうか。

**答弁2(2)** 校長会において予防や発生時での応急処置など具体的に指導している。また、「熱中症計」の導入については今後検討を行う。

**質問3(1)** 鈴鹿市は「非核平和都市宣言」をして25年目を迎えたが市長の今の思いは何か。

**答弁3(1)** 恒久平和を願った「宣言」は誇りうる事であり、核兵器廃絶と世界平和が今以上に進むことを願い、地道に着実な取組みを継続する必要がある。

## 政友会 今井 俊郎 議員



- 1 市立図書館と学校図書館の状況
- 2 小学校の保健室の状況について
- 3 学校現場での体罰について

**質問1(1)** 公民館の図書コーナーや図書室の充実や活性を求める。

**答弁1(1)** 関係課や各公民館と十分協議を重ねながら図書の利用促進に努めていきたい。

**質問1(2)** 読書教育について学校により取組みにばらつきがある。読書教育充実への今後の方策は。

**答弁1(2)** 学校経営の柱のひとつに位置づけると共



鈴鹿市立図書館

に教職員の研修に努める。

**質問2** 保健室への来室が多い学校の分析と対策は。

**答弁2** 校長会や保健担当者の研修会を通じて児童生徒の心身の健康保全と保健室の適切な運用等に周知を図っていきたい。

**質問3(1)** 体罰の報告並びに懲戒と体罰の考え方は。

**答弁3(1)** 鈴鹿市では過去5年間に4件体罰があった。学習課題や清掃活動を課す、立ち歩きの多い児童を叱って席に着かせるなど肉体的精神的に苦痛を与えない限り体罰には当たらないと考えている。

**質問3(2)** 毅然とした指導と体罰の未然防止について。

**答弁3(2)** 一時の感情に流されず職員会議などで共通理解を図り複数の教職員による組織的な指導を行うなど体罰の未然防止に努めていく。

## 市政研究会 大西 克美 議員



- 1 市長の次期出馬について
- 2 給食費について
- 3 不登校について

**質問1** 2期8年の任期中の市政運営の実績は。また残された課題を自らの手で遂行する気持ちは。

**答弁1** 「対話」と「信頼」を政治姿勢の基本に据え、市政の舵取りを行ってきた。「堅実で、着実な行政運営」が実績である。スタートさせた第5次鈴鹿市総合計画はまだ半ばで課題が多々あり、自らの手で達成したいとの思いはあるが、市長という重い職責を考えると熟慮する必要がある。

**質問2** 給食費の価格改定にかかる経緯とここ3年間の給食費未納の現況についてを問う。

**答弁2** 経済不況によりしばらく改定を見合わせていたが、この9月より改定する。給食費未納者は平成19年度は85名で、約148万円、平成20年度は102名で、約174万円、平成21年度は108名で、約145万円である。

**質問3** 不登校児童生徒数の現況と推移は。教育研究所の適応指導教室の在籍数と学校復帰数は。在宅の不登校児童生徒に対する対応と今後の取組みは。

**答弁3** ここ3年間は220名前後となっており、全国とほぼ同様の傾向である。教室に在籍した生徒は平成19年度は51名、平成20年度は45名、平成21年度は37名。うち復帰したのは、平成19年度は30名、平成20年度は29名、平成21年度は32名である。在宅不登校児童生徒には、適切な家庭訪問や様々な相談事業等でこれからも取り組んでいきたい。

## 公明党 伊藤 寿一 議員



- 1 市営住宅の今後について
  - (1) 自治会運営の援助策はあるのか
  - (2) 今後の市営住宅の高齢者対策は
- 2 EMの配布について
  - (1) 本来の目的は
  - (2) 配布は縮小ではなく拡大すべき

**質問1(1)** 市営住宅団地の外国人の増加で、回覧板、共益費、駐車、ごみ出し、迷惑駐車等々で自治会活動に障害が出ているが対策は。

**答弁1(1)** 平成17年度からNPO法人による外国人入居者ガイダンス等を実施している。問題の都度、注意、指導したり翻訳サービスを行っている。国勢調査も27種



市営住宅(安塚団地)

類の外国語による調査票や記入方法で対応。

**質問1(2)** 高齢者世帯の増加による介護や自治会運営等の高齢者対策をどう考えているか。

**答弁1(2)** 段差解消、手摺の設置等、退去した住居から順次実施する予定。建替で発生した跡地を売却し、福祉施設や医療施設の誘致を地域特性を踏まえ進めていく。

**質問2(1)** 本来の目的と下水道整備の完成はいつか。

**答弁2(1)** 水環境の改善に格好の素材と認識している。下水道完備は平成50年頃を目途としている。

**質問2(2)** 実証、実績を見て拡大し、下水道完備の30年間持続し環境浄化を目指すべきでは。

**答弁2(2)** 多くの自治体の事例の情報収集を進め、効果を生むような取り組みをしていく。



## 市政研究会 中村 浩 議員

- 1 コンビニでの諸証明の発行について
- 2 北長太川の整備についてパート2

**質問1** 市民サービスの充実を図るため、証明書をコンビニで交付するべきでは。

**答弁1** かねてから証明書自動交付機の導入を検討してきたが、国の主導でコンビニエンスストアでの証明書交付システムが構築され、証明書の交付が始まるとの情報を昨年夏頃に得た。このサービスのシステムはコンビニエンスストアで住民票と印鑑登録証明書の交付を行うものである。この方法であればコンビニエンスストアのキオスク端末を利用する為、導入経費が安く、早朝から深夜まで対応可能であり、全国どこでもサービスを受

けることができる。今後、先進市の実施状況を分析し、導入の検討を進めたい。

**質問2** 樋門不具合の今後の対策はどうするのか。

**答弁2** 昨年10月に樋門の改善対策等の調査をコンサルタント業者に委託し協議・検討を行ってきた。当初は今年3月に調査検討業務が完了する予定でいくつかの案を検討してきたが、より現地の状況に即した経済的で効果的な対策を検討する必要がある、平成22年度に予算を繰り越し、引き続き対策案の検討等を進めている。現在の経過は、三重県建設技術センター及びコンサルタント業者に、施工後の維持管理費用等も考慮した経済性や、対策の信頼性、効果等を総合的に検討し、併せて、その対策について検討を行い、協議を重ねている。



## 無所属クラブ 板倉 操 議員

- 1 鈴鹿市の産業の現状と課題について
  - (1)自動車産業に特化した産業構造
  - (2)ホンダが国内工場の再編を発表
- 2 地域主権改革は誰のためのものか

**質問1** 自動車産業に特化した産業構造の為不況の打撃は大きく、中小企業や市民の暮らしはよくなっていない。この現状をどう見ているのか。またホンダが拠点を移し鈴鹿は軽自動車の生産が中心になる。ホンダの動向で鈴鹿市が直面する課題は何か。更に中小企業は瀕死の重症で消費税を払えない業者は多い。立ち直るまで資金面の支援策が必要ではないか。

**答弁1** 特化した産業構造は更なる大不況に見舞われた時には、市政運営の根幹を揺がす事態になる。現

在多方面に渡る業種の集積をめざした取組みを始めている。中小企業の経営力アップの為の取組みもスタートした。内需型の産業集積をめざして努力をしていく。

**質問2** 政府は「地域主権(地方分権)改革」の方針を発表し、国と地方の形・しくみ、議会のしくみも変えると言いつい補助金の一括交付金化、義務付け枠付けの見直し等の実現を急いでいるが、地方に渡す仕事は多く財源は削る方向だ。地方は更に財政難になり市民の暮らしは苦しくなると思うがどうか。

**答弁2** 地域主権の主旨は理解するが、権限移譲に伴う、人、財源等の手立てができないと言う事態が起きる懸念はある。国県に地方の現状や意向を伝え、市民優先の自治体をめざすことが重要だ。



## 緑風会 数田 啓介 議員

- 1 放課後児童クラブについて
  - (1)地域との連携はどうか
  - (2)飯野小学校との連携はどうか
- 2 教職員の病欠について
  - (1)現状と教職員の配置について
  - (2)復職後の対応について

**質問1(1)** 放課後児童クラブの現状と地域とのつながりについての考え方はどうか。

**答弁1(1)** 小学校区における放課後児童クラブ設置数は33カ所・設置率110%で県下最高となっており、地域一体で開設運営いただいた結果であると感謝している。

**質問1(2)** 飯野小学校区では放課後児童クラブが児童の生活感の少ない地域にあるが、給食センター跡

地を放課後児童クラブを含む地域交流施設として利用できないか。

**答弁1(2)** 給食センター跡地の南半分は駐車場として整備をし、将来的にはプールなど学校施設の建て替え用地として活用する予定である。

**質問2(1)** 昨年度の教職員の病気休暇・休職者の現状はどうか。

**答弁2(1)** 病気やけがによる休暇・休職が9人、精神神経系疾患は14名である。

**質問2(2)** 精神神経系疾患の復職者への取組みはどうか。

**答弁2(2)** 職場復帰訓練や勤務軽減制度があり定期的に学校長から報告を受け、メンタルヘルスケアに取り組んでいる。



## すずか倶楽部 原田 勝二 議員

- 1 集落間、通学路の防犯灯について
- 2 戦没者顕彰施設と平和への祈り

**質問1** 鈴鹿市通学路集落間防犯灯管理費補助金交付要綱とは。また、防犯灯の設置状況(新神戸中学校も)と今後の取組みは。

**答弁1** 児童・生徒の安全をまもる為に、通学路集落間(なわて道)に防犯灯が設置されれば、防犯灯電気代補助金を交付する。現在71灯。年間120灯の予定で予算を確保。本年は申請が1灯、神戸中関係は12灯準備完了。今後は学校長・地域・PTAあらゆる視点から、細かく対策を実施していく。

**質問2** 市内の戦没者顕彰施設の現状はどうか。鈴

鹿市算所の弁天山公園「貝の涙」とは。また、平和への祈りとして、市として取組みの状況は。



**答弁2** 三重県遺族会によると寺院・神社・墓地に17か所、学校敷地近隣に4か所、集会所・地区市民センター近隣に4か所、公園に1か所、その他に4か所、合計30か所ある。「貝の涙」は算所地区の戦禍が克明に碑文に書かれ平成2年5月2日に平和の礎として寄贈された。平和への祈りは非核平和都市宣言をし、その趣旨に基づき原爆パネル展などを行っている。イベント開催に当たり、弁天山公園の「貝の涙」などを平和の大切さを訴えるものとして市民に伝えるようにしていく。



## 無所属クラブ 杉本 信之 議員

- 1 自殺対策について
- 2 生ゴミの堆肥化について
- 3 高齢者の住居について

**質問1** 9月10日から自殺予防週間が始まる。鈴鹿では毎年40人が自ら命を絶っている。今後の取組みはどのようにしていくのか。

**答弁1** 人と人とのつながりが大切と考えている。窓口職員の研修や市民向けに街頭啓発をしていく。又、市内の市民団体との共催で「生き方」をテーマとした映画上映会を開催するなどして、生きやすい社会となるよう努力していく。

**質問2** 来年から鈴鹿のごみの焼却灰が九州に運ばれ処理されることとなった。その量を減らす為にも堆肥

センターを建設し、生ごみは堆肥化するのが良いと考えるが、どうか。

**答弁2** 平成4年より生ごみ処理機等の購入に補助を出しており、平成21年までに全世帯の10%に当たる8千戸に補助した。分別や運搬費用など問題ある堆肥施設の建設より、今後も処理機の補助による各家庭での堆肥化の推奨をしていく。

**質問3** 広さとバリアフリーの考え方はどうか。

**答弁3** 豊かな住生活のために誘導居住面積水準が定められており、市営住宅において問題はない。借家等で狭い家に居住している高齢者等に対しては『あんしん賃貸支援事業』を実施し対応している。バリアフリーについては介護保険制度の中で、改修費用上限20万円まで支援している。



## すずか倶楽部 中西 大輔 議員

- 1 新しい産業創出について
  - (1) 電動バイクへの取組
  - (2) ※インキュベータ設置について

**質問1(1)** 鈴鹿市はモータースポーツのまちとして、電動バイクレースに独自のアンテナで取組むべきと考えるがどうか。電動バイクを切り口にした産業創出をどう考えるか。

**答弁1(1)** 電動バイクによるレースが、鈴鹿で開催されることは話題性に富み、観光資源になり得る可能性もあるが、国内で本格的なレースが開催されていない状況なので今後の動向を注視する。電動バイクは新たな内需を創出する可能性を秘めていると考える。電動機を用いた二輪車の部品の生産、加工、組立を一貫生産

する地域としての、本市の強みは十分認識。その技術の強みを意識し、参加企業同士、関係ネットワーク機関との連携の中で、検討をしていきたい。

**質問1(2)** ものづくり産業支援センターとSUZUKA産学官交流会などの活動を統合してインキュベータを設置してはどうか。この様な施設に、インキュベーションマネージャーを設置してはどうか。

**答弁1(2)** 新産業の育成にとって有用な施設であると考えているが「ものづくり動く支援室」を発展させた「ものづくり産業支援センター」をこの10月に開所する。市内一円をインキュベータと考え、支援活動を展開していく。インキュベーションマネージャーは企業の経験豊富なコーディネーターや企業OBアドバイザーをお願いしていく。

※インキュベータ=起業支援のための制度や施設



## 日本共産党 石田 秀三 議員

- 1 国民健康保険税の負担軽減について
- 2 市立保育所の改築計画について

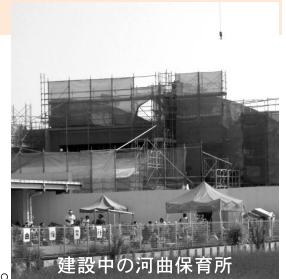
**質問1** 国保税の負担は市民の暮らしを圧迫している。収納率が85%を切り、値上げと滞納の悪循環となっている。国保税の引き下げ、減免の拡大を求める。そのためには、平成21年度に行なった一般会計からの繰り入れを、せめて全国平均の一人当たり1万円、5億円行なうことが引き続き必要である。

**答弁1** 国民健康保険支払準備基金が底をつき、本年度税率の改定を行った。現状として税率を下げることは困難である。一般会計からの補てん的意味合いの繰り入れは、あくまでも臨時的措置であり、繰り入れを

継続して行なうことは困難である。

**質問2** いま河曲保育所の建て替えが進んでいるが、次の計画はあるのか。築41年の玉垣保育所、築35年の算所保育所をはじめ、老朽化で現在の保育ニーズに合っていないので、一定の年数で建て替える計画があるべきではないか。緊急性の高い老朽園舎である玉垣保育所と算所保育所については、来年度からでも着手すべきである。

**答弁2** 老朽化が著しく緊急性の高い保育所は、玉垣保育所と算所保育所であると認識している。建て替えは移築の手法をとるので、その用地の確保を最優先に取り組んでいきたい。



## 日本共産党 森川ヤスエ 議員

- 1 神戸中学校跡地利用について
  - (1) 市民の財産として残し総合的な利用を求める
- 2 ワクチンで防げる病気予防について
  - (1) ヒブ・子ども用肺炎球菌・子宮頸がんワクチン接種は無料に

**質問1(1)** 神戸中学校跡地は利用価値の高い土地であり、地価が著しく下落している現状では売却せず地域の実情を考え市民の財産として総合的な利用を。

**答弁1(1)** 基本的には財源ということで売却を検討しているが、跡地についてはいろいろな場でご意見を頂いているので、そのまま進むのではなく、有効活用できるかを全庁的に検討するよう指示している。

**質問2(1)** 子どもの髄膜炎は予防ワクチンを投与することでほぼ確実に病気の予防が出来ることから、多くの国ですでに公費接種がおこなわれている。また日本人女性が罹患する子宮頸がんの70%はHPVウイルス感染であるが、ワクチン接種によって感染が予防できることも明らかである。しかし髄膜炎予防のための2つのワクチン接種費用や子宮頸がん予防ワクチンが高額であるためなかなか接種できない。公費補助で無料接種できるようにすることを求める。

**答弁2(1)** ワクチンの有用性は十分認識しており、全額は無理だが3点セットで何らかの助成をしたい。3点セットで補助をするのは県下では始めてであり、財源の確保に努めたい。具体的なものはこれから決めるので低所得層への支援も検討したい。



## 市政研究会 市川 哲夫 議員

- 1 孤立死ゼロの街づくりについて
- 2 小中学生の医療費の無料化について
- 3 公用車の運営について

**質問1** 孤立死はいかにして防げるか。また、孤立死を防ぐ方法として、緊急通報システムや地域包括センターの活用等が考えられるが、取組み状況は。

**答弁1** 孤立死を防ぐには、地域コミュニティの活性化が重要と考えられる。緊急通報システムの実績は平成21年度末で延べ720件である。地域包括支援センターでは、ご近所の見守りさん講座を開催し、地域での見守り活動に役立てていただいている。

**質問2** 親の経済的な理由により必要な医療を受けられないことがあってはならず、他の予算を切り詰めてでも、

実施することができないか。

**答弁2** 三重県及び県下の市町で構成する福祉医療費助成制度改革研究会や福祉医療費助成制度改革検討会において、受益と負担の公平性の確保、制度持続の可能性、県内すべての市町で実施可能な制度の3原則を基に対象年齢拡大などを検討している。

**質問3** 職員による公用車事故件数が多いのは、公用車が多いからではないか。

**答弁3** 平成21年4月1日現在の鈴鹿市名義の公用車は284台である。公用車管理体制の見直しを平成19年度から実施した結果、本庁管理の公用車は平成18年度当初より17.2%削減できた。公用車更新についても、一層の条件整備を行い、さらなる公用車台数の削減に努めて参りたい。





## 公明党 森しず子 議員

- 1 特別支援教育について
  - (1) 途切れない支援の取組
  - (2) 学校における支援体制の構築
  - (3) 今後の特別支援教育の在り方
- 2 平田野中学校移転に伴う通学路について

**質問1(1)** 特別支援教育がスタートしてから4年目を迎え、その推進体制と児童生徒数は。

**答弁1(1)** 本年より保健福祉部に子ども家庭支援室を設置し、途切れない総合的な支援体制を整えた。市内で1,010人の児童生徒が支援を必要としている。

**質問1(2)** 早期発見と継続的な支援のための学校における取組みの現状と課題について。

**答弁1(2)** 特別支援教育コーディネーターを中心とした

校内委員会を中心に、23%に止まっている通常学級に在籍する生徒の個別の教育支援計画の作成に努めている。

**質問1(3)** 今後の特別支援教育は、どのような方向を目指しているのか。

**答弁1(3)** 自立した主体として平等に社会参加できる※インクルーシブ教育の理念を日常の教育活動に浸透させていきたい。

**質問2** 平田野中学校移転に伴う通学路はどのような体制でどこまで進んでいるか。今後の取組みは。

**答弁2** 平田野中学校新校舎建設委員会の中に通学路検討部会を設置し、各小学校区別のグループで検討しており、現在通学路案に基づいて整備が必要な箇所の確認調査を行っている。今後は関係当局に整備の要望を出し、学校長が決定していくこととなる。

※インクルーシブ教育=障がいのあるなしに関わらずすべての子供が地域で共に学び合うこと



## 政友会 佐久間 浩治議員

- 1 鈴鹿市職員の採用試験の基準は
- 2 入札制度について
- 3 公用施設の管理について

**質問1** 本年度実施の採用試験の応募状況は。鈴鹿市民の優先採用はできないか。採用後は市内在住の条件をつけるべきではないか。特に消防士などは災害時の緊急出動などを考えて市内在住にすべきでは。

**答弁1** 不況により公務員人気が高まり応募者は増加している。今年度から年齢要件を緩和した。採用後に在住する事を条件としている自治体もあるが、勤務に支障がないように市内か周辺市に居住している職員がほとんどである。採用後の配属先等の勤務状況に応じて指導等の方法で対応している。

**質問2** 設計図書の電子化の進捗状況について。

**答弁2** 設計図書の大部分について、ホームページに掲載する予定。購入証明証の添付は不要にする。ホームページ閲覧環境のない参加業者用に、設計図書の販売や閲覧も、当面は並行して継続していく。このことにより、入札参加業者の経済的負担及び廃棄書類による環境負荷の軽減に資する。

**質問3** 文化会館、市庁舎、道路等の公用施設の管理をどのように考えているのか。また、本館エレベータの待ち時間の長さや本館喫煙室の換気対策は。

**答弁3** 緊急性などを考慮しながら年次計画を立て改修、修繕に取組み維持管理に努める。本館エレベーターは3基全体で自動制御し最良のシステムで稼働中。換気は設備投資の是非等慎重に検討する。

## 意見書について 9月定例会で次の5件の意見書を可決し、関係行政省庁に送付しました。

「義務教育費国庫負担制度の存続と全額国負担」を求める意見書

●義務教育費国庫負担制度の存続および全額国負担とすること  
内閣総理大臣・文部科学大臣・衆議院議長・参議院議長に送付

「保護者負担の軽減と就学・修学支援に関わる制度の拡充」を求める意見書

●子どもたちの学びを保障するための保護者負担の軽減と就学・修学支援に関わる制度の拡充を行うこと  
内閣総理大臣・文部科学大臣・衆議院議長・参議院議長に送付

「『新・教職員定数改善計画』(案)のすみやかな実施と教育予算拡充」を求める意見書

●「新・教職員定数改善計画」(案)のすみやかな実施と教育予算拡充を行うこと  
内閣総理大臣・文部科学大臣・衆議院議長・参議院議長に送付

子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を求める意見書

●子宮頸がん予防ワクチンを無料で接種できるよう公費助成をおこなうこと  
内閣総理大臣・厚生労働大臣・衆議院議長・参議院議長・三重県知事に送付

三重県北部地域の都市建設を推進し、雇用拡充や経済の活性化を求める意見書

●三重県北部地域での都市基盤整備に関する各種公共事業を積極的に推進すること

●地域経済を支える地元企業を育成し、地元雇用・地元調達の拡充等による地域経済活性化策を図ること

内閣総理大臣・国土交通大臣・経済産業大臣・衆議院議長・参議院議長・三重県知事に送付

# 議会の動き (議長・副議長の公務等)

略称/各種会議名	各派/各派代表者会議	政調/政務調査費経理責任者会議
議運/議会運営委員会	全協/全員協議会	広報/議会広報広聴委員会

## 7月

- 1日 椿・小岐須溪谷山開き式 (議長・関係議員)
- 2日 鈴鹿の海開き式 (議長・関係議員)
- 4日 社会を明るくする運動啓発式典 (議長)
- 6日 リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会建設促進大会 (議長)
- 7日 鈴鹿市交通安全都市推進協議会常任委員会・総会 (議長・生活産業委員長)
- 8日 議会改革特別委員会・鈴鹿川改修促進期成同盟会総会 (議長)
- 9日 各派、健康づくり推進協議会 (議長)、鈴鹿パルーンフェスティバル組織委員会 (副議長)
- 12日 鈴鹿中央総合病院運営協議会 (副議長・関係議員)
- 12日～14日 生活産業委員会行政視察 (福岡県北九州市、山口県長門市、山口県山口市)
- 14日 新消防庁舎建設工事安全祈願祭 (正副議長・総務委員長・関係議員)
- 15日 全協、総務委員会、文教福祉委員会
- 16日 鈴鹿亀山道路建設促進期成同盟会・一般国道1号関バイパス建設促進期成同盟会総会 (議長)
- 17日 第48回鈴鹿市老人クラブ連合会大会 (議長・関係議員)
- 20日～22日 建設水道委員会行政視察 (群馬県伊勢崎市、栃木県小山市、栃木県鹿沼市) 総務委員会行政視察 (茨城県常総市、東京都中野区、神奈川県横須賀市) 文教福祉委員会行政視察 (兵庫県姫路市、高知県南国市、香川県高松市)
- 23日 鈴鹿中央線延伸バイパス道路整備促進期成同盟会総会 (議長) 北勢5市議会懇話会 (正副議長)
- 29日 中勢バイパス建設促進期成同盟会定期総会・中勢バイパス事業促進に向けた意見交換会 (議長) 中ノ川改修工事促進期成同盟会総会 (副議長)
- 30日 日中友好促進三重県市議会議員連盟役員会 (副議長)

## 8月

- 3日 第39回消防救助技術東海地区指導会 (議長)
- 4日 各派、堀切川改修促進期成同盟会総会 (議長)
- 9日 全日本理美容選手権三重大会 (議長)、第10回あかりフェスタ (議長)
- 11日 議会改革特別委員会、全協、北勢5市議会合同研修会 (正副議長・関係議員)
- 12日 生活産業委員会

- 13日 自由ヶ丘盆踊り大会 (議長)
- 19日 議運
- 23日 国道306号整備促進同盟会総会 (議長)、鈴鹿回生病院運営協議会 (副議長)
- 24日 神戸中学校竣工式 (正副議長・関係議員)
- 25日 椋川改修促進期成同盟会総会 (議長)
- 26日 本会議、議運、三重県建設業協会鈴鹿支部との懇談会 (正副議長)

## 9月

- 2日 議運、本会議
- 3日 本会議
- 6日 本会議、各派
- 7日 本会議
- 8日 議運、各派
- 9日 本会議、予算決算委員会
- 13日 文教福祉委員会・予算決算委員会分科会、建設水道委員会・予算決算委員会分科会 神戸中学校太陽光発電システム贈呈式 (正副議長)
- 14日 総務委員会・予算決算委員会分科会、生活産業委員会・予算決算委員会分科会
- 15日 文教福祉委員会
- 17日 日本スポーツマスターズ2010三重大会親善ボウリング大会応援 (議長)
- 18日 鈴鹿パルーンフェスティバル2010開会セレモニー (議長・生活産業委員長) 日本スポーツマスターズ2010三重大会 (バドミントン競技) 開始式 (議長)
- 19日 第36回彫型画展表彰式 (議長)
- 21日 予算決算委員会、各派、議会改革特別委員会
- 23日 鈴鹿市消防団副団長藍綬褒章受章祝賀会 (議長)
- 26日 第23回福祉の森まつり (議長・関係議員)
- 27日 議運、各派
- 28日 本会議、全協、政調、広報
- 29日 鈴鹿市文化振興事業団理事会 (副議長)

# 11・12月会議日程

※日程は変更される場合があります。

11月	18日 (木)	10:00	議会運営委員会
	25日 (木)	10:00	本会議 (開会) (本会議終了後13:30～ 議会運営委員会)
12月	2～7日 (木～火)	10:00	本会議 (一般質問) (4・5日休会)
	8日 (水)	10:00	議会運営委員会
	9日 (木)	10:00	本会議 (質疑) (本会議終了後予算決算委員会)
	13日 (月)	10:00	常任委員会 [文教福祉・建設水道分科会]
	14日 (火)	10:00	常任委員会 [総務・生活産業分科会]
	16日 (木)	10:00	予算決算委員会
	20日 (月)	10:00	議会運営委員会
	21日 (火)	10:00	本会議 (閉会) (本会議終了後 全員協議会)

## 議会改革に取り組んでいます。

### ～費用弁償の改善～

鈴鹿市議会では、今年4月から議会に出席する1日ごとに3,000円を支給していた費用弁償を、住所地から会議の場所までの最短距離の往復に要する距離1キロメートルにつき37円を支給することに変更しています。これによって1年間でおおよそ400万円を節減できることになります。

## 市民のみなさんのご意見をお寄せください!

市議会だよりに対するあなたのご意見・ご提案・ご要望をお聞かせください。お寄せいただいたご意見は、今後の市議会だよりの発行の参考にさせていただきます。

〒513-8701  
鈴鹿市神戸一丁目18番18号鈴鹿市議会事務局  
TEL 059-382-7600 FAX 059-382-4876  
Eメール giji@city.suzuka.lg.jp

## 会議録のお知らせ

一般質問や議案質疑など本会議の詳しい内容については、会議録が閲覧できますのでご覧ください。9月定例会の会議録は、11月下旬に市立図書館及び各地区市民センターなどに配布予定です。また、鈴鹿市議会ホームページに、会議録検索システムを掲載していますのでご覧ください。

## 傍聴のご案内

本会議や常任委員会、特別委員会及び議会運営委員会は傍聴できます。日程は市役所の掲示板と市議会のホームページに掲載します。ただし、日時が変更になる場合がありますので、傍聴する場合は、事前に議会事務局へご確認ください。電話 382-7600

## テレビ中継のお知らせ

本会議の一般質問を、CNSテレビ (デジタル122ch) で生放送します。放送時間は、午前10時 (開会時間) から会議の終了までです。ぜひご覧ください。

## 議会史を販売しています。

平成16年までの鈴鹿市議会のあゆみがわかる書籍です。資料編・記述編を販売しております。購入御希望の方は議会事務局までご連絡ください。